



UN World Conference on
Disaster Risk Reduction
2015 Sendai Japan

第3回 国連防災世界会議パブリック・フォーラム

災害 ボランティア フォーラム

Forum:
Disaster Relief Volunteers

総合テーマ

「東日本大震災の災害ボランティア活動を振り返る」
～実践から見えた課題とボランティアの意義、今後に向けて～

東日本大震災において、災害ボランティアセンターと全国各地、海外から
集結した災害ボランティアは、どのような役割を担い、何をもたらしたのか。
そして、今後の災害時にボランティアの力をより引き出すためには何が必要なのか。



日時／2015年3月14日(土) 13:00-18:30 (開場12:00)

会場／仙台市シルバーセンター1階 交流ホール

◎アクセス方法は裏面をご覧ください。

一般公開・入場無料[定員304名](事前申込み不要。入退場自由)

※会場が満席の場合、ご入場いただけない場合がございます。 ※同時通訳の設備はございません。予めご了承ください。

※英語通訳のボランティアスタッフおよびフォーラムの概要を記した英語資料を準備しております。

【主催】仙台市／社会福祉法人仙台市社会福祉協議会

【協力】仙台市ボランティア連絡協議会

仙台都市圏等市町村社会福祉協議会災害ボランティアセンターの相互支援に関する協定加盟社会福祉協議会

(塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、川崎町、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村)の各社会福祉協議会



【後援】東北大学／東北大学災害科学国際研究所／東北学院大学／社会福祉法人岩手県社会福祉協議会／社会福祉法人宮城県社会福祉協議会／社会福祉法人福島県社会福祉協議会／社会福祉法人全国社会福祉協議会／一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター／社会福祉法人中央共同募金会／災害ボランティア活動支援プロジェクト会議／東京大学／三菱商事株式会社／宮城県／仙台商工会議所／仙台市連合町内会長会／仙台市民生委員児童委員協議会／仙台市共同募金委員会／日本赤十字社宮城県支部／仙台市老人福祉施設協議会／朝日新聞仙台総局／毎日新聞仙台支局／読売新聞東北総局／河北新報社／産経新聞社東北総局／時事通信社仙台支社／日本経済新聞社仙台支局／共同通信社仙台支社／株式会社仙台リビング新聞社／NHK仙台放送局／TBC東北放送／株式会社仙台放送／ミヤギテレビ／KHB東日本放送／仙台CATV株式会社／株式会社エフエム仙台／エフエムたいはく株式会社／fmいずみ797／尚絅学院大学／仙台白百合女子大学／仙台大学／東北工業大学／東北生活文化大学／東北福祉大学／東北文化学園大学／東北薬科大学／宮城学院女子大学／宮城教育大学／宮城大学／聖和学園短期大学／仙台青葉学院短期大学／東北生活文化大学短期大学／復興大学災害ボランティアステーション

第3回 国連防災世界会議パブリック・フォーラム

「災害ボランティアフォーラム」プログラム

13:00 開会・オリエンテーション

【オープニングメッセージ】

「東日本大震災における災害ボランティア活動の意義と課題」

政府の東日本大震災の教訓や災害ボランティアに関する検討会での議論を基に、全国的な視点から東日本大震災時に災害ボランティアが担った役割や効果、課題についてお話しいただくとともに、国・行政と民間の連携等についてお話しいたします。



東北大学 災害科学国際研究所
人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野
教授 丸谷 浩明 氏

平成16年に内閣府政策統括官(防災担当)付企画官として、中央防災会議「事業継続ガイドライン」の策定に携わるとともに、各地の活動者による内閣府「防災ボランティア活動検討会」の立上げ等、国における災害時のボランティア活動の環境整備に取り組む。また、平成23年に内閣府政策統括官(防災担当)付参事官として、大震災の教訓を受けた防災対策の見直しに携わり、現在上記検討会等の有識者委員として、国における防災ボランティア活動支援の環境整備にも関わっている。

【シンポジウム1】

「各地で行われた活動を振り返って ～それぞれの被災地域に見る特質から考える～」

広域複合災害という状況の中で、被災3県および政令指定都市の社会福祉協議会における災害ボランティアセンターの実践報告を通じて、それぞれの地域における災害ボランティアの状況と特徴について理解を深め、災害ボランティアと活動支援の多様性について考えます。



COORDINATOR
東北学院大学 経済学部 共生社会経済学科
教授 阿部 重樹 氏

仙台市地域保健福祉計画推進委員会委員長、仙台市震災復興メモリアル等検討委員、仙台市震災復興検討会議委員を務める。東日本大震災直後には東北学院大学災害ボランティアステーションの開設に携わる他、大学等高等教育機関等のネットワーク組織として、地域復興を担う人材育成と地域貢献を目的に運営される復興大学において、復興大学災害ボランティアステーションの事業代表を務める。



SPEAKER
岩手県社会福祉協議会 地域福祉企画部
部長 根田 秋雄 氏
東日本大震災時には「岩手県災害ボランティアセンター」所長として、全国からの支援者との調整や被災地域における災害ボランティアセンターおよびボランティア活動の支援を行った。



SPEAKER
宮城県社会福祉協議会 総務部
副参事 高橋 賢一 氏
東日本大震災時には、「宮城県社会福祉協議会災害ボランティアセンター」関係機関調整グループ長として、市町村災害ボランティアセンターの状況把握、社協活動の課題把握、専門的NPO/ボランティア団体の連絡調整などを担い、「協働型ボランティアセンター」の運営に尽力した。



SPEAKER
福島県社会福祉協議会 地域福祉課
課長 関 靖男 氏
東日本大震災時には、「福島県災害ボランティアセンター」を統括し、県内における被災者の支援をはじめ、災害ボランティアセンターに関する運営支援および全国からの支援者との連絡調整を行った。



SPEAKER
仙台市社会福祉協議会
事務局次長 高橋 健一 氏
東日本大震災時には、「仙台市災害ボランティアセンター」所長として、市内に最大6か所設置したボランティアセンターを統括するとともに、地域福祉課長として、被災者支援のための緊急小口資金特例貸付や、みなし仮設住宅にお住まいの方への支援を行った。

15:45 休憩

【シンポジウム2】

「災害ボランティアの効果を引き出す仕組み ～多様な主体の有機的連携～」

東日本大震災における災害ボランティアセンターには多様な主体が関わりました。それぞれの立場から参加した動機、参加に際しての課題や解決策を実践事例とともにお話しいたご、参加しやすい、効果的な被災者・被災地支援の仕組みとそれぞれの役割、連携について考えます。



COORDINATOR
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部 部長
全国ボランティア・市民活動振興センター 所長
佐甲 学 氏

阪神淡路大震災において、神戸市兵庫区社会福祉協議会における福祉救援活動等の支援に携わる。東日本大震災では、全国の社会福祉協議会からの災害ボランティアセンター等への応援職員の派遣調整や福島県社会福祉協議会において市町村社協支援を担当した。



SPEAKER
一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター
代表理事 山本 隆 氏

NGOピースポートの寄港地担当者として世界100ヶ国以上で国際交流プログラムづくりを担当した。阪神・淡路大震災をきっかけに、新潟、トルコ、台湾、パキスタン、スリランカなど国内外の多くの現場で災害支援を行う。東日本大震災においては一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンターを設立し、現在も継続的な被災地支援を行っている。内閣府防災ボランティア活動検討会メンバーを務める。



SPEAKER
災害ボランティア活動支援プロジェクト会議
幹事 桑原 英文 氏

防災・福祉学習や地域福祉の分野で市民の主体的な参画による地域づくり、また地域の担い手育成、災害時の支援プラットフォームづくりのアドバイザーやファシリテーターとして、さまざまな対象、地域、機関で実践活動を行なっている。東日本大震災では、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議の幹事として支援活動を行う一方、支援者の支援を行う「支援者のための支援センターTOMONY」共同代表を務める。



SPEAKER
東京大学大学院 法学政治学研究所
准教授 米村 滋人 氏

医師・法学者。東日本大震災発生後に、東北大学東日本大震災学生ボランティア支援室の運営担当教員として、学内における学生のボランティア活動推進の仕組みづくりに奔走した。現職である東京大学でも、同様の学生ボランティア活動の支援を行っている。



SPEAKER
三菱商事株式会社 環境・CSR推進部復興支援チーム
チームリーダー 中川 剛之 氏

2011年4月、東日本大震災の支援活動実施のための先遣隊として、仙台、石巻に向かった後、支援活動を行うための基盤づくりの中心となった。現在も地元目線を大切にしながら、社員ボランティア派遣を行うとともに、産業復興・雇用創出をより一層迅速に、そして継続的に支援を行っている。

【クロージング・鼎談】

「東日本大震災の実践から見た災害ボランティア活動の今後」

オープニングメッセージおよび各シンポジウムのコーディネーターが、各議論を踏まえ、災害ボランティア活動の今後について考えます。

- ◎東北大学 災害科学国際研究所 教授 丸谷 浩明 氏
- ◎東北学院大学 経済学部 共生社会経済学科 教授 阿部 重樹 氏
- ◎社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部 部長 全国ボランティア・市民活動振興センター 所長 佐甲 学 氏

18:30 閉会 ※閉会后、登壇者の方との名刺交換等の時間を設けます。

会場までのアクセス

仙台市シルバーセンター1階 交流ホール

〒980-0013 仙台市青葉区花京院1丁目3番2号

◎ JR仙台駅西口より徒歩8分

◎ 地下鉄仙台駅から徒歩8分

◎ 花京院シルバーセンター前バス停から徒歩3分

※お車の場合は、会場の駐車場をご利用いただけませんので、
近隣の駐車場(有料)をご利用ください。

■ 問い合わせ先

仙台市社会福祉協議会

〒980-0022 仙台市青葉区五橋2丁目12-2

地域福祉係 TEL.022-223-2026

仙台市ボランティアセンター TEL.022-262-7294

■ Ustream配信について

会場にいらっしゃれない方も是非ご覧ください。

<http://www.ustream.tv/channel/sendai-vc>

詳細は下記ホームページでもお知らせいたします。

復興支援“EGAO(笑顔)せんだい”サポートステーション

<http://www.ssvc.ne.jp/>



関連企画

日時 / 2015年3月15日(日)

会場 / 仙台市シルバーセンター7階 第1研修室

10:00-12:00

災害時における 支援調整の仕組みを考える

～新たな官民連携・コーディネーション機能構築に向けて～
日本の災害対応の課題を見つめ、求められる連携調整機能を考えます。また海外での支援調整事例を参考に、有識者によるパネルディスカッションを通して、日本に必要とされる仕組みを提案し協議します。

■ 主催 / (仮称)全国災害NPOセンター(JVOAD)準備会

■ 対象 / 災害支援に関わるNPO/NGO、中間支援組織、
社会福祉協議会、行政などの職員

■ 入場 / 無料 ※事前のご予約は不要です

■ 問い合わせ先 / JVOAD準備会ジャパン・プラットフォーム内
(担当 / 明城・坂巻)

TEL.03-6261-4750

■ メール / toyoko.sakamaki@japanplatform.org

14:00-18:00

防災と ボランティアのつどい

～実践と歩みを学び、未来を描く～

災害時のボランティア活動はなくてはならないものとなっています。また、被害を軽減するためのボランティア活動も広がりを見せる中、より多くの人たちが活躍することが期待されています。本イベントでは、これまでの日本の防災ボランティア活動の実践と歩みを学ぶパネルディスカッションを行い、その後、参加者同士が防災ボランティア活動の未来を話し合います(ワールドカフェ形式)。

■ 主催 / 内閣府防災担当

■ 対象 / 防災活動に関心のある方
どなたでも参加いただけます

■ 入場 / 無料 ※事前申込制

■ 問い合わせ先 / 下記ウェブサイトからお申し込みください。

<http://www.bousai-vol.go.jp/>

防災ボランティア

検索